

ビジネスマナー

敬語

【目的】

- ☑ 敬語の種類や仕事でよく使う敬語を学ぶ
- ☑ 敬語書き換え問題やロープレを通して、敬語を意識して話す練習をする

主なワークの種類



個人ワーク



ロープレ

受講日：

氏名：



こじん 個人ワーク

あなたの^{ことば}言葉のなかには^{ていねいご}丁寧語に直せるところがあります。

P4の「よく使う^{つか}丁寧語」を^{さんこう}参考にして直しましょう。

①



あなた

〇〇^{せんぱい}先輩、^{きょう}今日はお^{おつ}疲れ様。^{たいしや}※退社の^{あいさつ}挨拶

^{ていねいご}丁寧語に直すと…

②



あなた

^か課長、^いどこに行かれますか？

^{ていねいご}丁寧語に直すと…

③



あなた

パンフレットを^{ぼくあて}僕宛に^{おく}送ってください。

^{ていねいご}丁寧語に直すと…



4 フォーマルな敬語「尊敬語」「謙譲語」

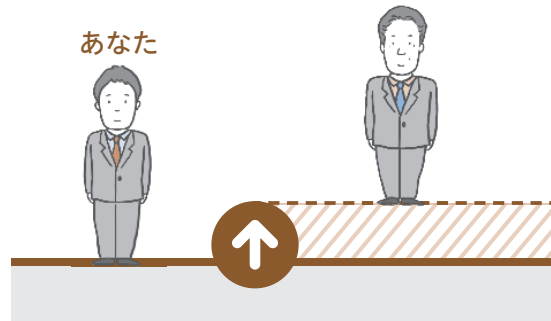
尊敬語

相手の動作・状態を高めて、相手への敬意を表す言葉です。

相手を高めることで立場の違いを表します。

つまり、会話もしくは文章の主語は「相手」です。

(例) 行く・来る → いらっしゃる・仰る
話す → おっしゃる・お話になる



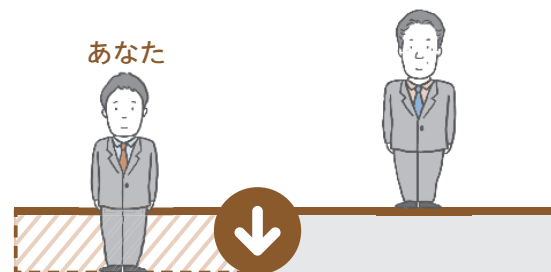
謙譲語

自分や身内（家族など）の動作・状態を低めて、相手への敬意を表す言葉です。

自分を低めることで立場の違いを表します。

つまり、会話もしくは文章の主語は「自分・身内（家族など）」です。

(例) 行く・来る → 参る・伺う
話す → 申す (申し上げる) ・お話しする





よく使う尊敬語・謙讓語

日常にちじょうでよく使う言葉ことばを、尊敬語そんけいご・謙讓語けんじょうごに変かえると次つぎのようになります。

会話かいわもしくは文章ぶんしやうの主語しゅごに注意ちゆういして使つかいましょう。

動詞 <small>どうし</small>	尊敬語 <small>そんけいご</small> (主語は相手) しゅご あいて	謙讓語 <small>けんじょうご</small> (主語は自分) しゅご じぶん
する	なさる、される	いたす、させていただく
言う	おっしゃる、言 <small>い</small> われる	申 <small>もう</small> す、申 <small>もう</small> し上 <small>あ</small> げる
聞く	お聞 <small>き</small> きになる	拝聴 <small>はいちやう</small> する、うかがう
見る	ご覧 <small>らん</small> になる	拝見 <small>はいけん</small> する
行く	いらっしゃる、おいでになる	伺 <small>うかが</small> う、参 <small>まい</small> る
来る	お見えになる、いらっしゃる おいでになる、お越 <small>こ</small> しになる	伺 <small>うかが</small> う、参 <small>まい</small> る
会う	お会いになる	お会 <small>あ</small> いする、お目 <small>め</small> にかかる
話す	おっしゃる	申 <small>もう</small> す、申 <small>もう</small> し上 <small>あ</small> げる
読む	お読 <small>よ</small> みになる	拝読 <small>はいどく</small> する
食べる	召 <small>め</small> し上 <small>あ</small> がる	いた <small>い</small> た <small>た</small> く、頂戴 <small>ちやうだい</small> する



そんしょう けんしょう
 尊称・謙称

そんけいご けんしょうご なか ことば じたい けい い も
 尊敬語や謙讓語の中でも、言葉自体に敬意を持たせたり、

へい げ き も こ つか ことば
 謙りの気持ちを込めたりして使う言葉があります。

そんしょう あいて がわ ひと ばしょ もの そんけい つか ことば
 尊称とは相手側の人や場所、物を尊敬して使う言葉です。

けんしょう じぶんがわ ひと ばしょ もの へい げ つか ことば
 謙称とは自分側の人や場所、物を謙って使う言葉です。

し はたら うえ やく た おぼ
 知っておくと働く上で役に立つので、覚えておきましょう。

	そんしょう あいて がわ 尊称 (相手側)	けんしょう じぶんがわ 謙称 (自分側)
ちち 父	とうさま お父様	ちち ろう ふ 父 老父
はは 母	かあさま お母様	はは ろう ぼ 母 老母
むす こ むすめ 息子・娘	し そくさま じょうさま ご子息様・お嬢様	むす こ むすめ 息子・娘
か そく 家族	みなみなさま 皆々様	いちどう 一同
うわやく 上役	ご じょうし き か かちょう 御(上司) 貴(課課長) など	じょうし かちょう 上司 課長 など
かいしゃ 会社	き しゃ おんしゃ 貴社 御社	へいしゃ しょうしゃ わたくし 弊社 小社 私ども
す 住まい 住まい	きてい そんたく 貴邸 尊宅	せったく せっ か 拙宅 拙家
みせ お店	きてん 貴店	へい ぽ どうてん 幣舗 当店
がっこう だいがく 学校・大学	き こう おんこう き がく き だいがく 貴校 御校 貴学 貴大学	ほんこう ほんがく 本校 本学





次の文章の下線部分は、間違った敬語です。

P7～P9を参考にしながら、正しい敬語に書き直してみましょう。

(例) 田中先輩は毎朝掃除をいたす。

田中先輩は毎朝掃除をなさる(される)

① 社長が申しました。

② 明日、御社にお越しします。※話し言葉

③ 課長、こちらの記事を拝見しましたか。

④ 私は〇〇さんの手紙をお読みになりました。

⑤ 課長、ABC 商事の〇〇社長にお目にかかりましたか。

⑥ 私は社長講和をお聞きになりました。

⑦ ぜひ、当社に伺ってください。

おわりに

ただ ^{けいご} 正しい敬語が身につくと、

しゃかいじん ^{いちだん} 社会人としてのコミュニケーションが一段レベルアップします。

むず ^{けいご} ^{つか} ^{まちが} 難しい敬語を使って間違えてしまい、^{あいて} ^{いや} ^{おも} 相手に嫌な思いをさせてしまうのであれば、

まずは「です」「ます」の丁寧語を使って伝えるといいでしょう。

ただし、「丁寧に話す」ということがポイントです。

けいご ^{あいて} ^{たいせつ} ^{おも} ^{きも} ^{つた} ^{ことば} 敬語は相手を大切に思う気持ちを伝える言葉ですから、

じゅうよう ^{きも} ^{つた} 重要なのはその気持ちが伝わることなのです。

ほんじつ ^{まな} ^き ^{あす} ^{じっせん} 本日の学び・気づき・明日から実践できそうなこと

まちが けいご 間違いやすい敬語

① その敬語、間違っていますよ！

ここではよく使われている「間違っまちがた」敬語けいごを紹介しょうかいします。

ことばことばはへんかへんかしつづつづけるものなので将来しょうらいはただただ正しい敬語けいごとされる可能性かのうせいもありますが、
げんじてんげんじてんではききにする人もいるため使わつかないほうが無難ぶなんでしょう。

しゅご 主語がポイント

レストランで「ご注文ちゅうもんの商品しょうひんは、すべてお揃いそろになりましたか？」と
てんいんてんいんがいいってきました。じつはこれ、ただただ正しい敬語けいごではありません。
どこがまちがまちがっているのかぶんかいぶんかいしてみましょう。

(例) ご注文れいの商品ちゅうもんは、すべてお揃いしょうひんになりましたか？
しゅごしゅご 主語 けいごけいご さんけいごさんけいご 敬語(尊敬語)
「お～になる」

しゅごしゅごがしょうひんしょうひんということは、じぶんじぶんがはたらはたらいているレストランの商品しょうひんに対して、
さんけいごさんけいごをつかつかいいあらわあらわしているのまちがちがいです。
ポイントはしゅごしゅごです。ただただいいかかつぎつぎぶんしょうぶんしょうになります。

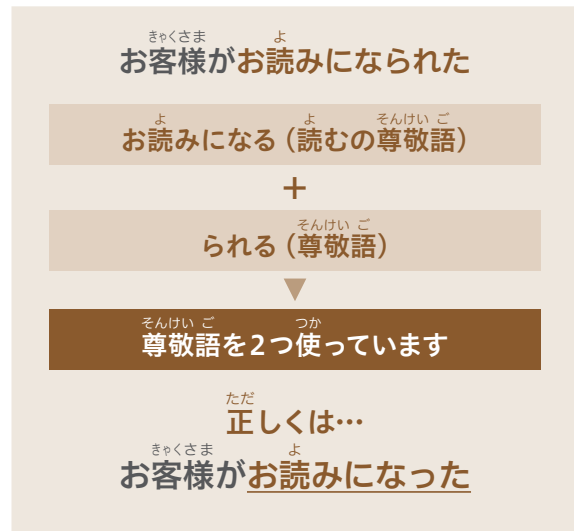
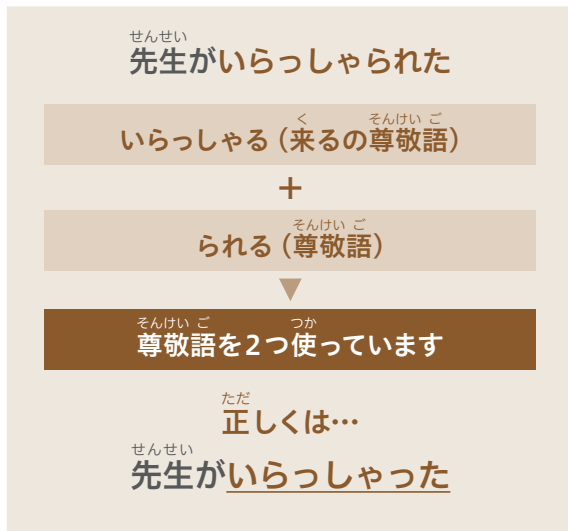
(例) ご注文れいの商品ちゅうもんは、揃そろっておりますか？

じぶんじぶんがはたらはたらいているレストランの商品しょうひん(みうちみうち)なのでけんじょうごけんじょうごはなはなで話はなします。

あいて <small>あいて</small> た <small>た</small> ひと <small>ひと</small> 相手や立てるべき人	じぶん <small>じぶん</small> みうち <small>みうち</small> どうりょう <small>どうりょう</small> 自分、身内、同僚など
さんけいご <small>さんけいご</small> 尊敬語	けんじょうご <small>けんじょうご</small> 謙讓語

にじゅうけいご 二重敬語

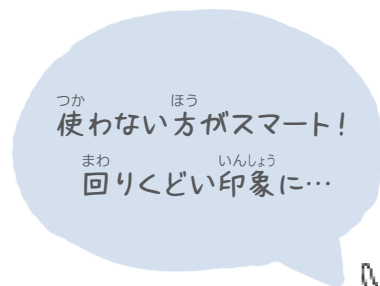
ひとつの文章中に、同じ種類の敬語が2つ以上入ると敬語の使い方としては
まちが
間違いになります。



「～れる、～られる」は人を敬う気持ちを表現 (尊敬) する助動詞です。

敬語としては尊敬語として扱います。

そのため、敬語が2つ以上入っているので間違いです。



みんな大好き「させていただく」

敬語の代表格として耳にすることが多いと思われる「〇〇させていただく」。

この言葉は、2つの意味を持っているために使い方には注意が必要です。

1. 相手の許可を得る（〇〇してもいいですか？）

2. 恩恵を受ける

※自分が恩恵を受けるので、相手に損が発生することがあります。

この2つのどちらにも当てはまらな^あいと使^{つか}えない。

例を挙^{れい}げて説^あ明^{せつめい}すると、

(例) こちらの会議資料^{かいぎ しりょう}について、ご説^{せつめい}明^{めい}させていただきます。

1. 相手の許可を得る（〇〇してもいいですか？） ⇒ ×

説明^{せつめい}するために配^{くば}った会議資料^{かいぎ しりょう}のため、相手^{あいて}から許^{ぎよ}可^かを得^える必要^{ひつよう}はありません。

2. 恩恵を受ける ⇒ ×

会議資料^{かいぎ しりょう}のため、自分^{じぶん}と相手^{あいて}に損^{そんとく}得^{はっせい}は発生^{はっせい}しません。

ただ^{ただ}い^いか^かつぎ^{つぎ}ぶんしょう^{ぶんしょう}
正しく言い換^かえると次^{つぎ}の文章^{ぶんしょう}になります。

(例) こちらの会議資料^{かいぎ しりょう}について、ご説^{せつめい}明^{めい}いたします。

するの謙讓語^{けんじょうご}「いたす」を使^{つか}って「いたします」と伝^{つた}えるのが適^{てきせつ}切^{せつ}です。

